

令和2年12月

## ワクチンの超低温での輸送・保管が電源なしで実現できる、 BioBox Freezer(バイオボックス フリーザー)を開発

定温輸送容器製造メーカーの株式会社スギヤマゲン(本社:東京都文京区、代表取締役 杉山 大介)は、**-70°C以下を約 12 日間保持**できる「BioBox Freezer」(ドライアイス対応超高性能断熱ボックス)を開発しました。

### <背景>

新型コロナウイルスのワクチンは-70°Cの超低温管理を求められます。ワクチンの供給量に対し、超低温対応のフリーザーは数量に限りがあり、ほとんどのクリニック等ではお見かけしないのが現状です。

「ワクチン接種現場での-70°C保管を実現します」

角型ドライアイス 20kg 投入し-70°C以下を約 12 日間保持が可能

- ・ディープフリーザーの調達困難が予測されます。  
⇒ディープフリーザー代替として使用可能(低コスト)
- ・ビーズドライ(粒状ドライアイス)の調達困難が予測されます。  
⇒調達のしやすい角型ドライアイスで-70°C以下を対応可能

### <構造>

マイクロポーラス状ヒュームドシリカ芯材の次世代真空断熱材を搭載し、弊社独自の 特許構造にて限りなく熱伝導を抑え込み、さらにボックス外装生地内部にはナノサイズの細孔を持つエアロゲルコーティング生地を内蔵し、断熱層の厚さを維持したまま断熱性能を向上させることに成功。

内部構造は熱伝導性の高いアルミ素材をバランス良く組み込むことで、ドライアイス昇華温度-78°Cがボックス内部隅々に行き渡る設計。温度ムラを解消し、無電源ディープフリーザーとして期待される。

<仕様>

外寸:560×440×H430mm

内寸:400×285×H285mm

ワクチン保管室寸法:270×240×H205mm 13.2L

(ファイザーワクチンのワクチン箱(195vial 入)を 5 箱収納可能)

<販売価格> 定価13万円 (ファイザーワクチン用 アルミ仕切り付属)

<発売予定> 2021年2月

<商品コード> SBE-FR32

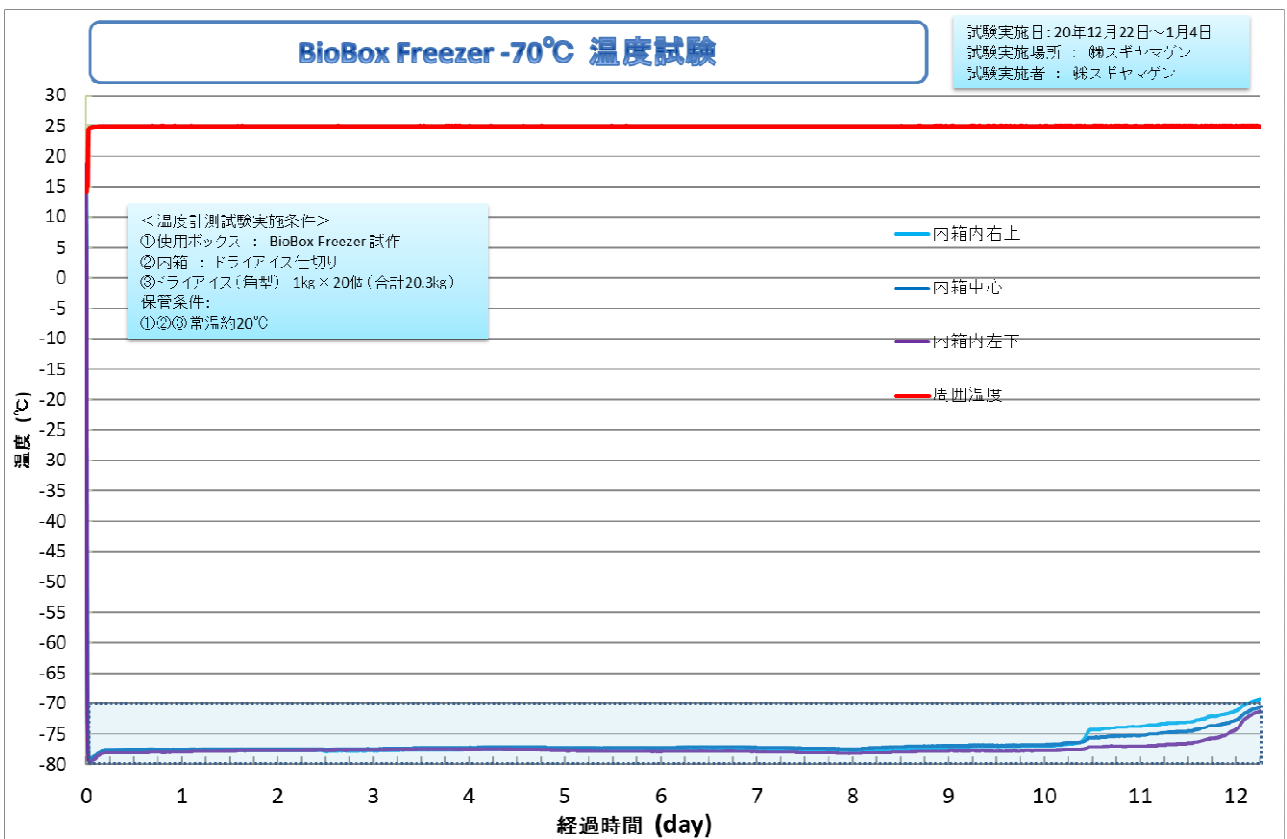
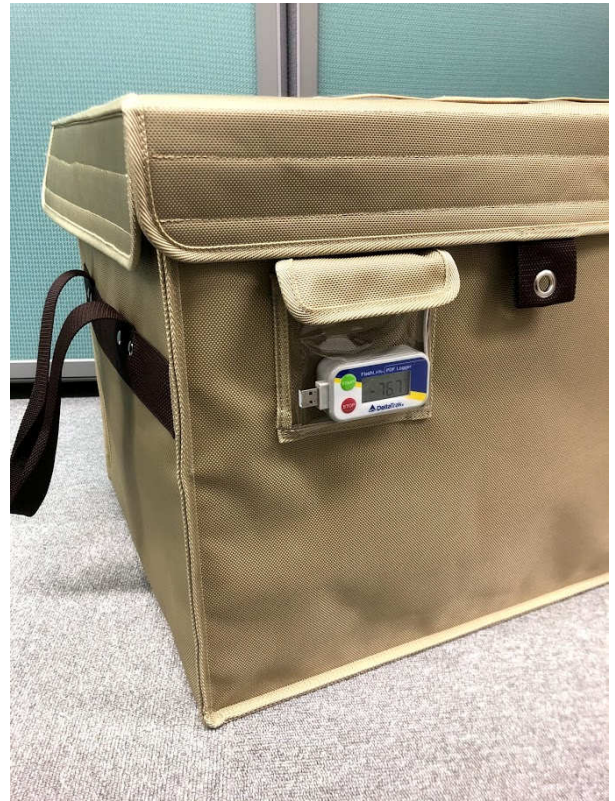
<オプション>

デルタトラック社 Model 40555

超低温フリーザー用温度データロガー(-100℃~+40℃) 定価 35,000 円



(2021年1月22日改定)



<株式会社スギヤマゲンについて>

創業:昭和7年(1932年)・・・親会社・株式会社杉山元医理器の創業年

設立:平成2年(1990年)

代表取締役 杉山大介

企業理念:

- 医療、環境及びその周辺分野で、当社しかやらない、当社だからこそできる製品・サービスを提供することにより、社会から高い存在価値を認めて貰える会社になる
- それぞれの分野で、お客様から頼りにされる、お客様をリードするプロフェッショナル集団になる
- お客様の満足度向上に常に取り組み、そのことにより安定した収益をあげられる会社になる
- 社員のやりがい、いきがいの達成が会社の発展につながり、会社の繁栄が社員及びその家族の幸福につながるような仕事をする

事業内容:定温輸送容器・資材の製造・販売、医療機器、臨床検査及び研究/分析用機器、器材及び消耗品の販売

スギヤマゲンの定温輸送容器納入実績:

- 大手医薬品卸のバイオ医薬品・ワクチン・検査試薬輸送向けとして採用
- 大手臨床検査センターの検体集配・配送用向けとして採用
- 大手物流企業の治験薬・医薬品輸送向けとして採用
- 大手製薬会社の原薬・治験薬輸送向けとして採用
- 移植用角膜・臓器等の輸送用として採用
- 大手化学メーカーの原料・開発品の輸送用として採用
- 衛生研究所・保健所の検体集配・食品収去輸送用として採用

コーポレートサイト: <https://www.sugiyama-gen.co.jp/>

定温輸送容器サイト: <http://teion-no-mado.com/>